

— DVR —

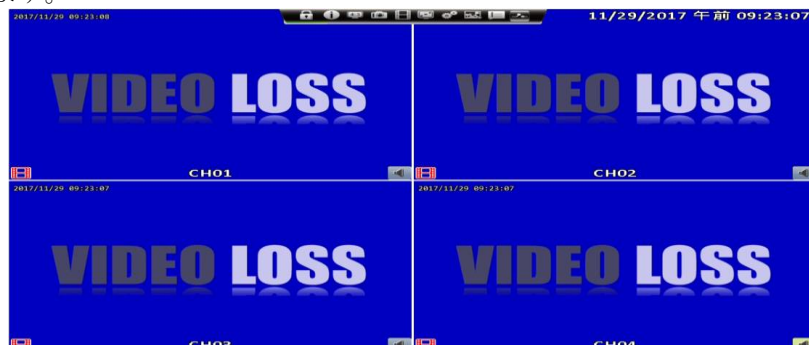
DVRSET-AHD404KG

Table of Contents

Chapter 1	ライブ映像画面	3
Chapter 2	メインメニュー設定	4
2-1	日付検索（再生）	6
2-2	バックアップ	7
2-3	設定メニュー	8
2-4	ズーム	8
2-5	ショートカットツールバー	9
Chapter 3	設定メニュー	10
3-1	録画設定	10
3-1.1	常時録画設定	11
3-1.2	スケジュール録画	11
3-1.2.1	祝日設定	12
3-2	イベント設定	12
3-2.1	ビデオロス	12
3-2.2	モーション検知	12
3-2.3	システム	13
3-3	カメラ設定	14
	Motion Area Setup	15
3-4	アカウント設定	16
3-4.1	admin	16
3-4.2	他のユーザー	16
3-5	ネットワーク設定	17
3-5.1.1	DHCP	18
3-5.1.2	Static IP	18
3-5.1.3	HTTP	18
3-5.2	DDNS	19
3-6	ストレージ設定	20
3-6.1	HDD	20
3-6.2	USBメモリー	20
3-6.3	DVD-RW	20
3-7	システム設定	21
3-7.1	日付/時間設定	21
3-7.2	モニター設定	21
3-7.5	入力設定	22
3-7.6	ユーティリティ	23
	遠隔監視ソフトインストール・設定（ローカルアクセス）	24
3-8	アプリケーションソフトウェアをインストールする場合	24
3-9	Internet Explorerに接続する場合	27
3-10	P2P接続セットアップ（遠隔地からのアクセス）	29
3-11	モバイルアプリ	36

Chapter 1 ライブ映像画面

レコーダを起動すると初めにライブ映像画面が表示されます。ライブ映像画面には各アイコンが表示されます。



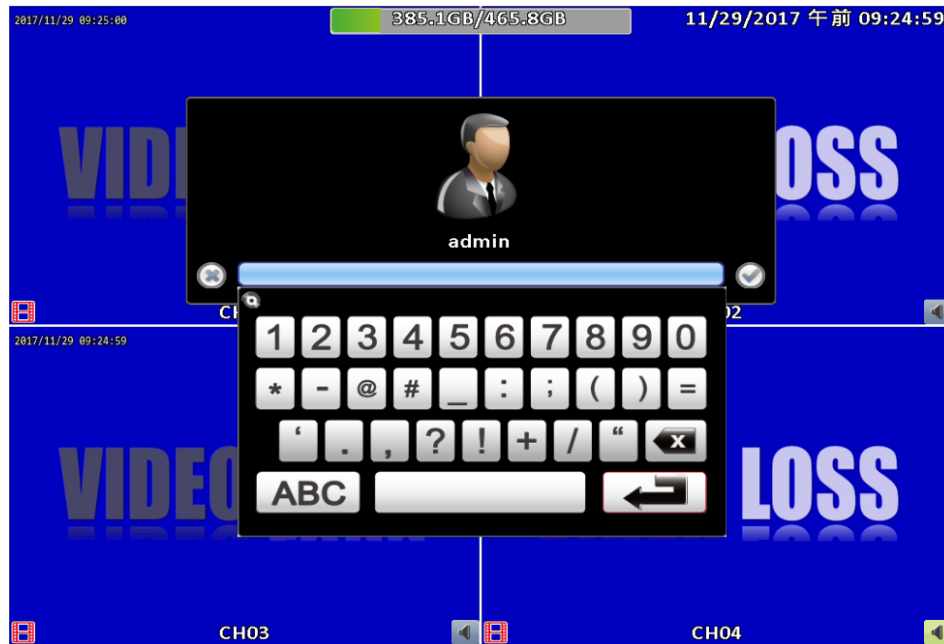
アイコン	説明
	録画中に表示されます
	音声が入音の時に表示されます。
	音声が入音の時に表示されます。
	ビデオ信号がある時に表示されます。
	イベント録画が検知された時に表示されます。
	モーションが検知されたときに表示されます。
	アラームが検知された時に表示されます。
	アラームが検知されない時に表示されます。
	ビデオ信号がない時に表示されます。
	USBデバイスが検知された時に表示されます。
	DVDデバイスが検知された時に表示されます。
	ネットワーク接続が可能な時に表示されます。
	ネットワーク接続が不可能な時に表示されます。
	現在のユーザを表示します。
	HDDの容量、残量、使用パーセンテージ、温度を表示します。
	映像の時刻を表示します。

Chapter 2 メインメニュー設定

マウスを右クリックするとメインメニュー画面に入る為のパスワードが表示されます。
初期値は以下の通りです。

123456

「アカウント設定」で変更も可能です。



メインメニューでは以下の項目があります。



アイコン	説明
	オートシーケンシャルを設定します。
	データのバックアップ
	システム設定などの設定メニューに入ります。
	日付検索
	システムのログを表示します。
	再生画面に入ります
	PTZ設定を行います。
	スマートサーチ
	デジタルズーム
	映像を停止します。
	画面内にサブ画面を表示します。
	全画面表示をします
	4分割表示をします。

2-1 日付検索（再生）

日付検索ではカレンダー形式で映像の再生が出来ます。メインメニューから「日付検索」をクリックすると以下の画面に入ります。

画面上部のフルダウナーで月と年を選択すると、選択した月、年のカレンダーが表示されます。日付が青で囲まれている日付には録画データがあります。カレンダー下の時間バーをスライドさせるかプルダウンで時刻を設定した後、再生ボタンをクリックすると設定した時刻の映像が再生されます。

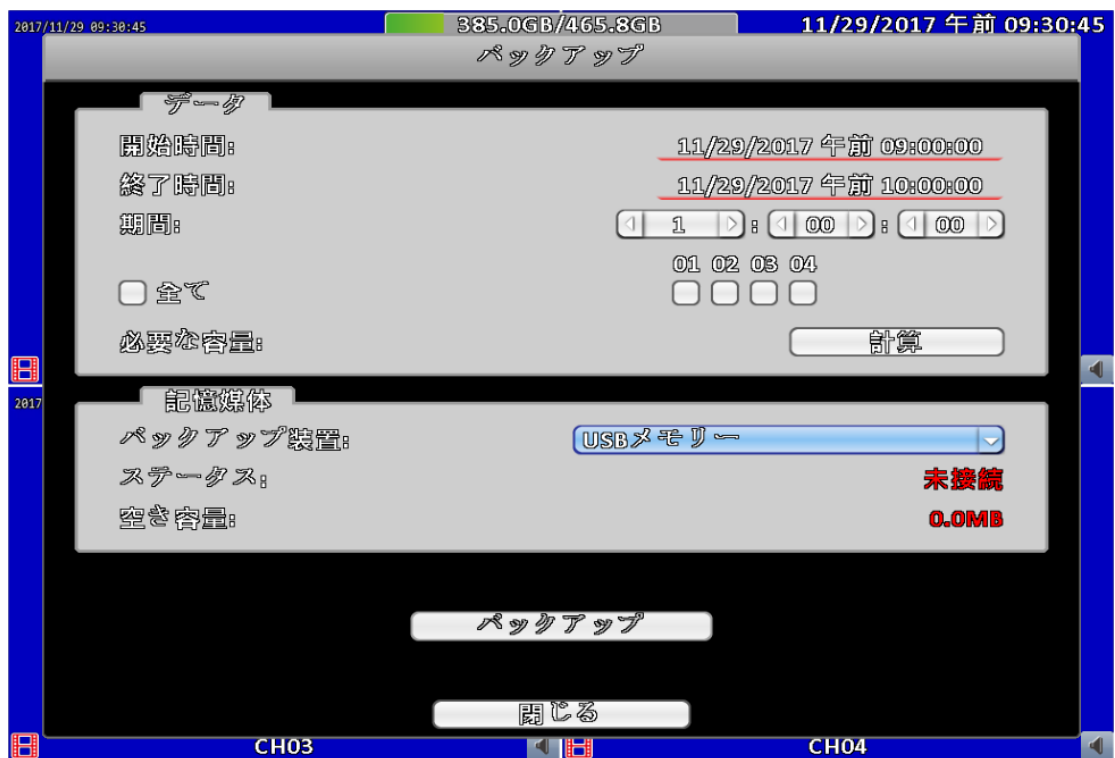




画面左下のアイコンから再生、一時停止、早送り、コマ送りが出来ます。

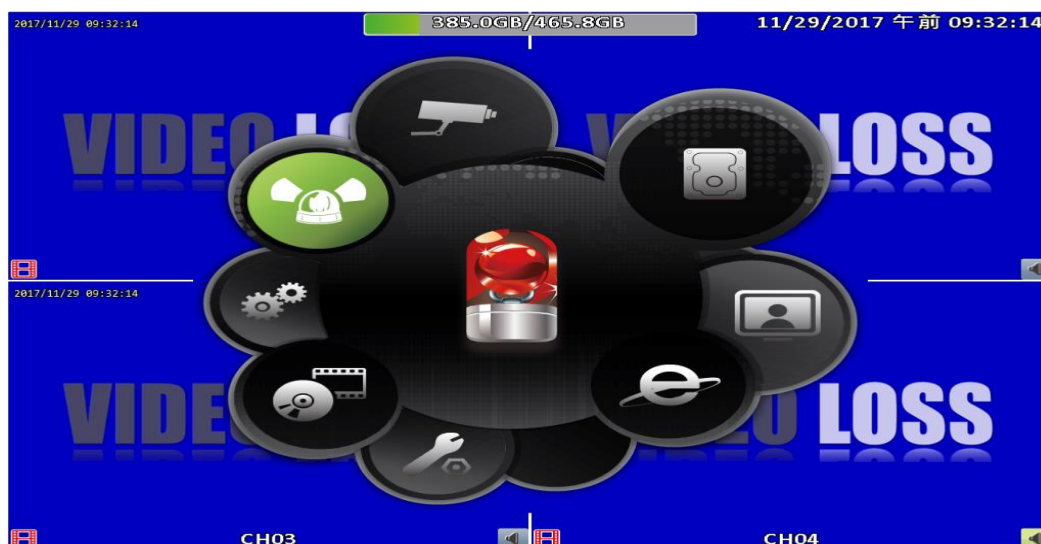
2-2バックアップ

「メインメニュー」の「バックアップ」をクリックすると映像のバックアップ画面に入ります。「開始時刻」、「終了時刻」、「期間」、録画するチャンネル、バックアップ装置（USBメモリもしくはDVD-RW）を選択して、「バックアップ」のアイコンをクリックします。



2-3 設定メニュー




「メインメニュー」→「設定」で「カメラ設定」、「ストレージ設定」、「アカウント設定」、「ネットワーク設定」、「システム情報」、「録画設定」、「システム設定」、「イベント設定」が出来ます。



2-4 ズーム

「メインメニュー」の「ズーム」をクリックすると表示画像の一部を拡大表示する事が出来ます。








アイコン	説明
	ズームイン
	ズームアウト
	ズーム画面を終了します。

2-5 ショートカットツールバー

リアルタイム映像を表示させている状態で、画面上部にマウスポインターを合わせると、ショートカットツールバーが表示されます。



アイコン	説明
	ユーザーログイン・ログアウト
	システム情報
	表示画面を4:3 / 16:9に切り替えます。
	画面のキャプチャーを取ります。
	ポップアップ設定

Chapter 3

設定メニュー



3-1 録画設定

「設定メニュー」の「録画設定」をクリックすると、常時録画、イベント録画等の設定が出来ます。

表示される画面上部の「録画モード」で「オフ」、「常時録画」、「スケジュール録画」を選択できます。



3-1.1 常時録画設定

常時録画のタブでは、常時録画及びイベント録画の設定が可能です。

イベント録画にはモーション録画が含まれます。

プリ録画はモーション録画を含むイベントが発生する何秒前から録画を開始するかを設定できます。0～3秒の間で設定できます。

ポスト録画はイベントが発生した後、何秒後まで録画をするかを設定できます。0～100秒まで設定できます。



3-1.2 スケジュール録画

スケジュール録画のタブでは曜日や時間毎に録画設定が可能です。

最大4つまでスケジュールを組むことができます。

画面右下の「設定」をクリックする事で設定画面に入ります。

画面左下のAからDのいずれかをクリックした後に、グリッド線上でドラックする事で、選択したスケジュールを適用する事が出来ます。



設定

設定項目には「常時録画」、「イベント録画」、「イベント検知」の3つがあります。



3-1.2.1 祝日設定

祝日は最大で50日まで設定可能です。
祝日になるとスケジュール録画設定の「祝日」の設定でDVRが動作します。



3-2 イベント設定

3-2.1 ビデオロス

ビデオ録画が発生した場合、「ログに記録する」、「ブザーを鳴らす」等の設定が出来ます。

3-2.2 モーション検知

「モーションを検知した時に録画を開始する」等の設定が出来ます。

各チャンネルの「有効」にチェックを入れ、「イベント録画」で各チャンネルを選択する事でモーション録画が開始されます。

例) CH1のモーションを有効にして「イベント録画」でCH01を選択。

Ch1でモーション検知があった場合にCh1を録画する。



3-2.3 システム

録画エラー等が発生した際にブザー等で通知する設定が出来ます。



3-3 カメラ設定



Item	Description
マスク	ライブ映像にマスキングをします。
カメラ名	カメラの名前を変更します。
Timestamp	Click on the blue screen to set position of the timestamp.
Video Format	ビデオフォーマットを選択します。初期値はautoです。
DVR access setup	Local “DVR mode” and remote “IP mode” can be selected. *For DUHD is called “DUHD” . For IVR is called “Smartlink” .





Motion Area Setup

「メインメニュー」→「設定」→「カメラ設定」→「高度な設定」→「モーションエリア設定」をクリックするとモーションの検知エリアを指定できます。
モーションエリアは22×18のグリッド線で表示されます。初期値は全てのエリアが指定されています。白いエリアがモーションエリア検知範囲で、グレーのエリアがモーションエリア検知除外範囲です。



Item	Description
CH01~ CH04	設定を行うチャンネルを選択します。

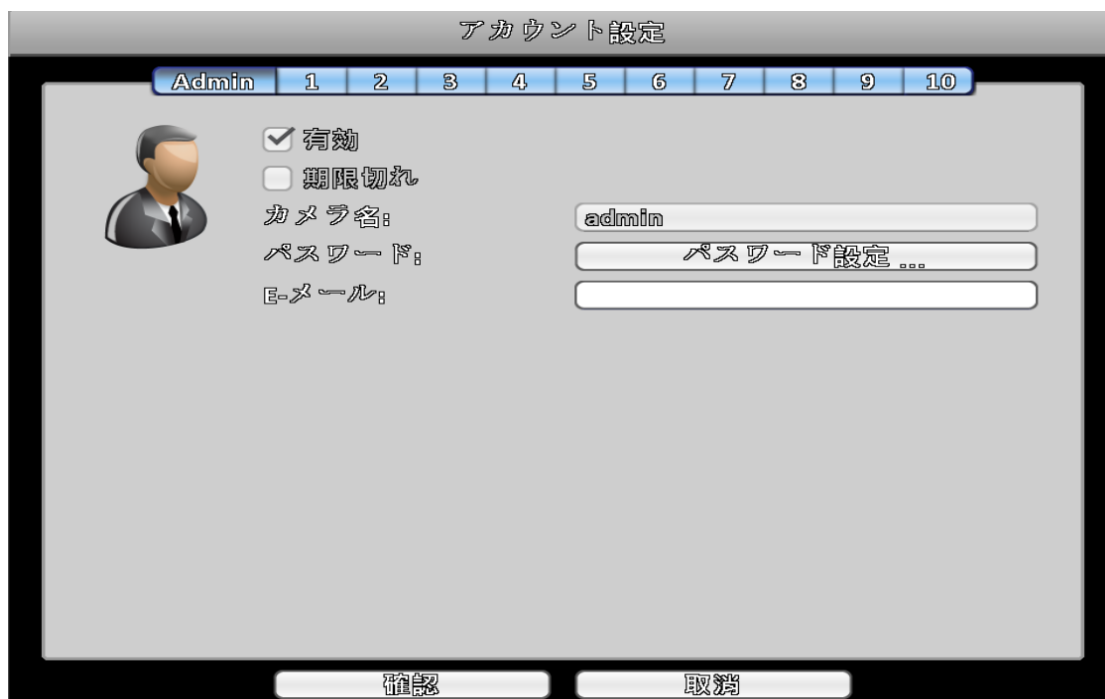
Mask Mouse Selection	Switch between “select” and “deselect” for cursor-dragging function
全区域有効	全エリアでモーションを検知します。
全区域無効	全エリアでモーションを無効にします
Apply to All	Apply the current settings to all channels
Exit	To leave and save settings
Close	Close and save the area settings menu.

3-4 アカウント設定

管理者アカウント+10ユーザまでアカウントを追加する事が出来ます。アカウント毎に権限を変えることが出来ます。

3-4.1 admin

初期アカウントとパスワードは” admin” “123456” です。
パスワードの変更等が出来ます。



3-4.2 他のユーザー

1から10までのタブをクリックする事で、ユーザの追加が可能です。他のユーザーの場合、付与する権限の詳細設定が可能です。

アカウント設定

Admin 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

☐ 有効
☐ 期限切れ

カメラ名:

パスワード:

E-メール:

1/1/1970

許可

	01	02	03	04
<input type="checkbox"/> 録画再生	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 遠隔ライブ&再生	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
コンソール				
<input checked="" type="checkbox"/> ライブ	<input type="checkbox"/> 再生	<input type="checkbox"/> バックアップ		
<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> システム	<input type="checkbox"/> PTZ & Relay		
リモート				
<input type="checkbox"/> ライブ	<input type="checkbox"/> 再生	<input type="checkbox"/> バックアップ		
<input type="checkbox"/> 設定	<input type="checkbox"/> システム	<input type="checkbox"/> PTZ & Relay		

3-5ネットワーク設定

11/29/2017 AM 10:02:10

HD-IPC

2017

35°C 931.6GB/465.8GB 17%

2017-11-29 10:02:11 ネットワーク設定

☐ バンド制限 1 8 Mbps
☐ Virtual Network Interface

DHCP
固定IP
PPPoE
3G

☒ 有効
IP: 192.168.1.15

HTTP
DDNS
NTP
メール設定
FTP

☒ 有効
ポート: 80
リモートメンテナンス: 有効
適用キー:

CH03 CH04

Item	Description
DHCP	IPアドレスを自動取得します
Static IP	IPアドレスを固定します。 .
HTTP Setup	遠隔アクセスする場合のHTTPポートを設定します。
DDNS	DDNSの設定を行います。
NTP	NTPの設定を行います。

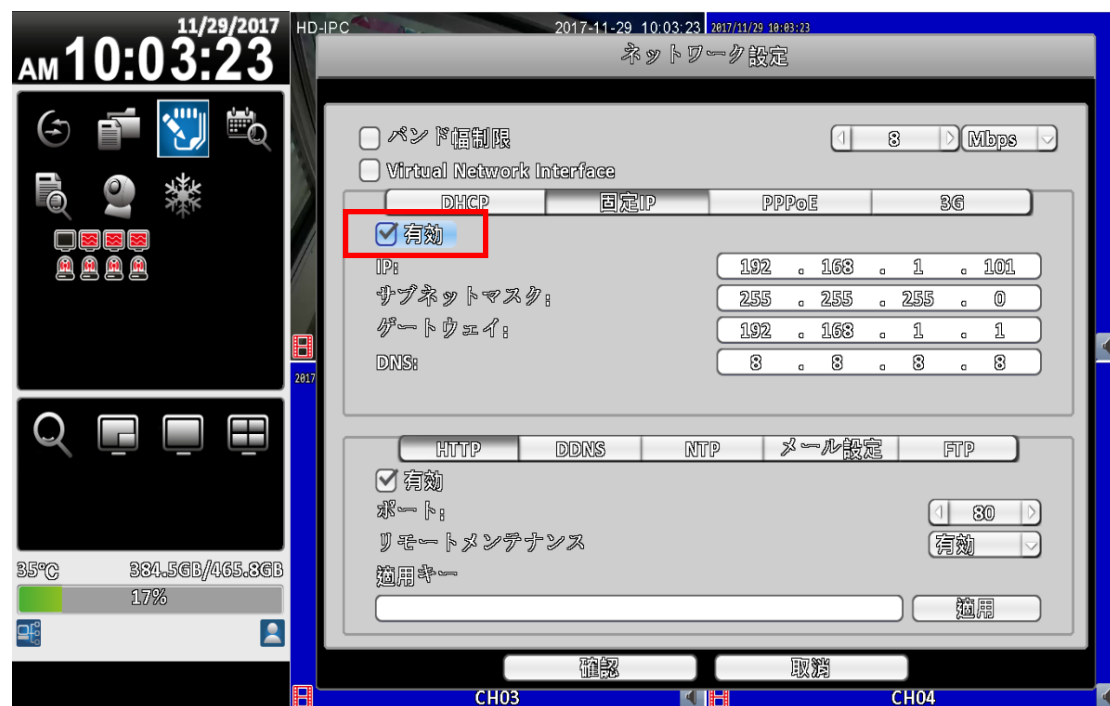
3-5.1.1 DHCP

DHCPサーバからIPアドレスを「自動取得します。」



3-5.1.2 Static IP

IPアドレスを固定する場合に使用します。



3-5.1.3 HTTP

外部ネットワークから遠隔監視をする際に使用します。

有効にする場合には「有効」の隣のチェックボックスにチェックを入れて、ポートを指定します。ポートは1から65535まで選択できます。初期値は80です。



3-5.2 DDNS

DDNSの登録を行います。ez-dns.comもしくはi-dvr.netを選択すると自動でホスト名の欄にDNSのドメインが表示されます。ユーザとパスワードの欄は空欄にします。

TESTのボタンを押してNEWと表示されれば登録完了です。



サーバー:	ez-dns.com
ホスト:	C18884B.ez-dns.com
ユーザー:	
パスワード:	

サーバー:	i-dvr.net
ホスト:	C18884B.i-dvr.net
ユーザー:	
パスワード:	

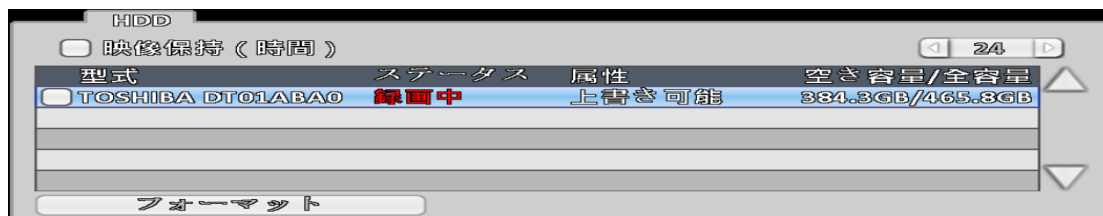
3-6 ストレージ設定

3-6.1 HDD

HDDのフォーマットなどを行います。

HDDの初期化、上書き可能、書き込み可能、読み取り専用等に変更可能ですが、通常は使用しません。

※フォーマットを行うとデータが消去れますのでご注意ください。



項目	説明
映像保持	HDDの容量に関わらず、指定した時間を超えると過去のデータから上書き保存をします、 HDDが書き込み可能の設定の場合、指定した時間を超えると録画が停止します。
型式	HDDのモデルが表示されます。
ステータス	「録画中」等HDDのステータスを表示します
属性	HDDの属性を表示します。
空き容量/全容量	HDDの空き容量と全容量を表示します。
フォーマット	現在と同じ属性でHDDをフォーマットします。
上書き可能	HDDが上書き可能な状態でフォーマットされます
書き込み可能	HDDが書き込み可能な状態でフォーマットされます。 この属性の場合、上書き録画はされません。
読み取り専用	HDDを読み取り専用にします。

3-6.2 USBメモリー

接続したUSBメモリーの状態を表示します。



3-6.3 DVD-RW

接続したDVD-RWの状態を表示します。



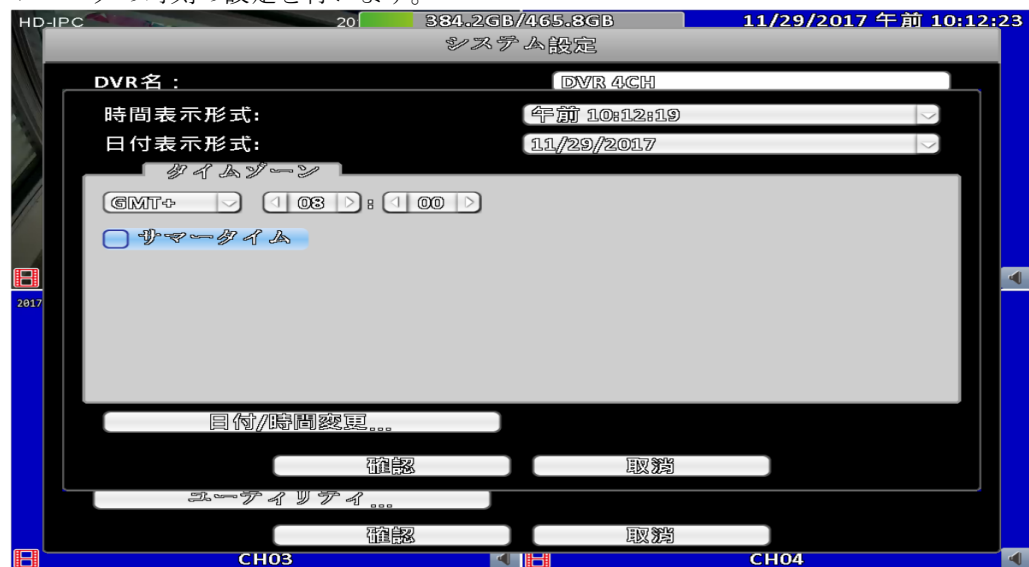
3-7 システム設定

システム設定のトップではDVRの名前、言語、映像方式、オートロック、自動再起動などを変更できます。



3-7.1 日付/時間設定

レコーダの時刻の設定を行います。



3-7.2 モニター設定

モニターの解像度は、モニター設定ボタンをクリックした画面の右下のタブ1、タブ2の解像度設定で変更できます。

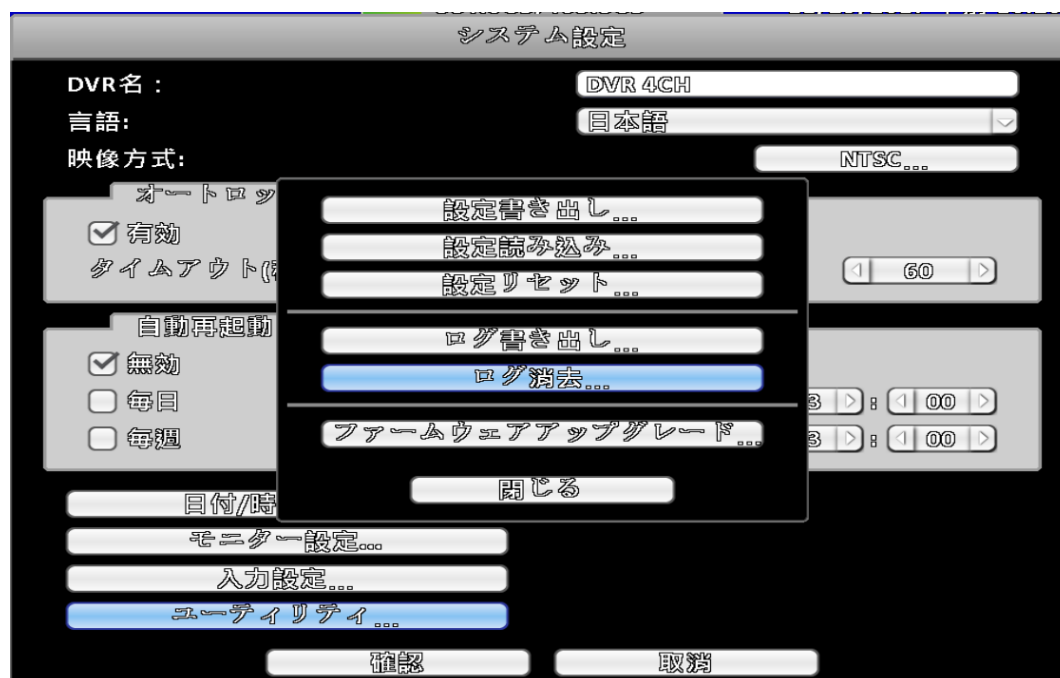


3-7.5 入力設定

入力設定ではマウス速度等、詳細な設定が可能です。



3-7.6 ユーティリティ



Item	Description
設定書き出し	レコーダの設定をUSBメモリに書き出します。
設定読み込み	レコーダの設定をUSBメモリから読み込みます。
設定リセット	レコーダーの設定のリセットをします。
ログ書き出し	レコーダのログをUSBメモリに書き出します。
ログ消去	レコーダのログを消去します。
ファームウェアアップグレード	USBメモリーからファームウェアのアップグレードが出来ます。

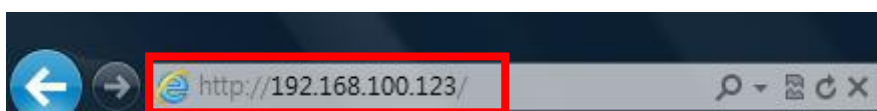
遠隔監視ソフトインストール・設定（ローカルアクセス）

PCからアクセスする場合には「iWatchDVR」もしくはInternet Explorerバージョン6以上を使用します。

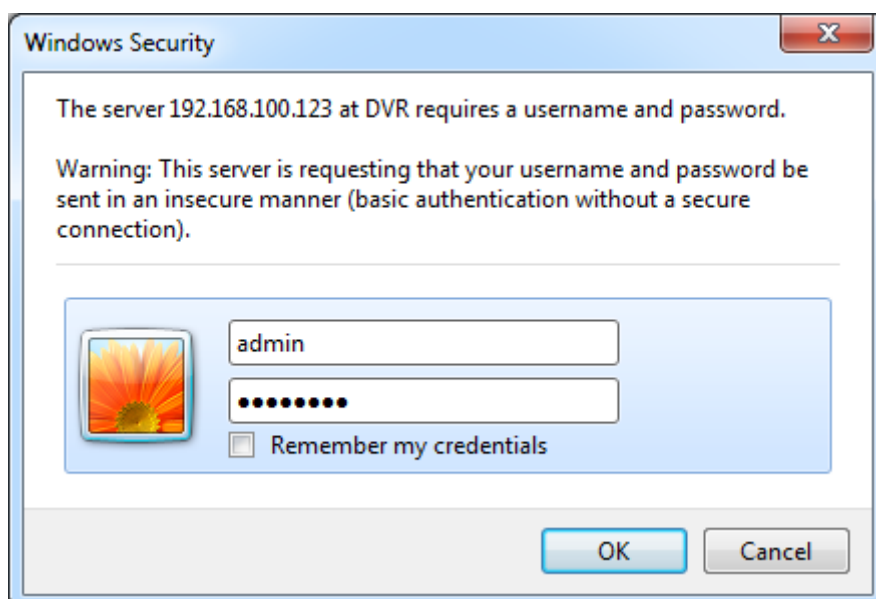
2017年現在対応OSはWindows XP SP2以上、Windows Vista, Windows 7, Windows8/8.1, Windows10です。

3-8 アプリケーションソフトウェアをインストールする場合

Step 1: レコーダのIPアドレスをInternet Explorerのアドレスバーに入力します。



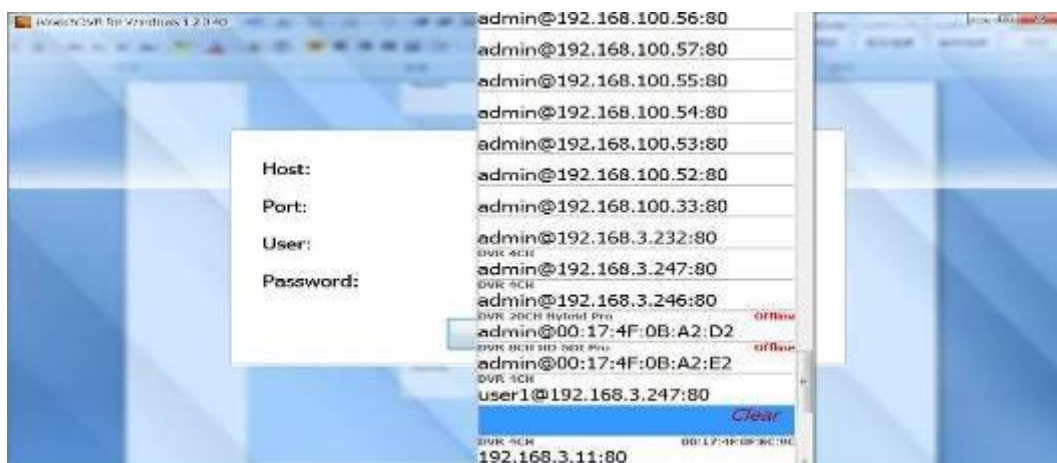
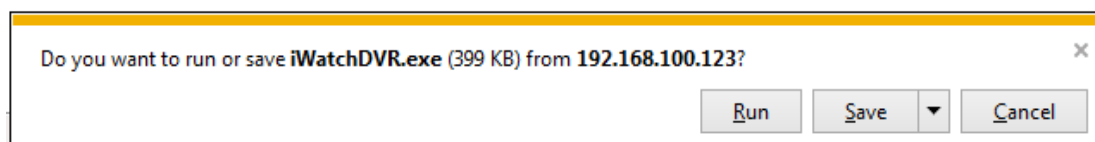
Step 2: 以下の画面が表示されますので、レコーダのユーザ名とパスワードを入力します。初期値はユーザ名がadminでパスワードが123456です。



Step 3 : iWatchDVR for Windows XP/Vista/7/8をクリックするとアプリケーションソフトのダウンロードが開始されます。



Step 4 : アプリケーションをインストール後、ユーザー名・パスワードを入力します。



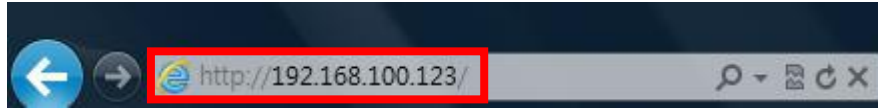
メニューから接続できるDVRのIPアドレスを確認します。

「Clear」メニューでIPアドレスを削除します。
Step 5 : DVRに接続します。

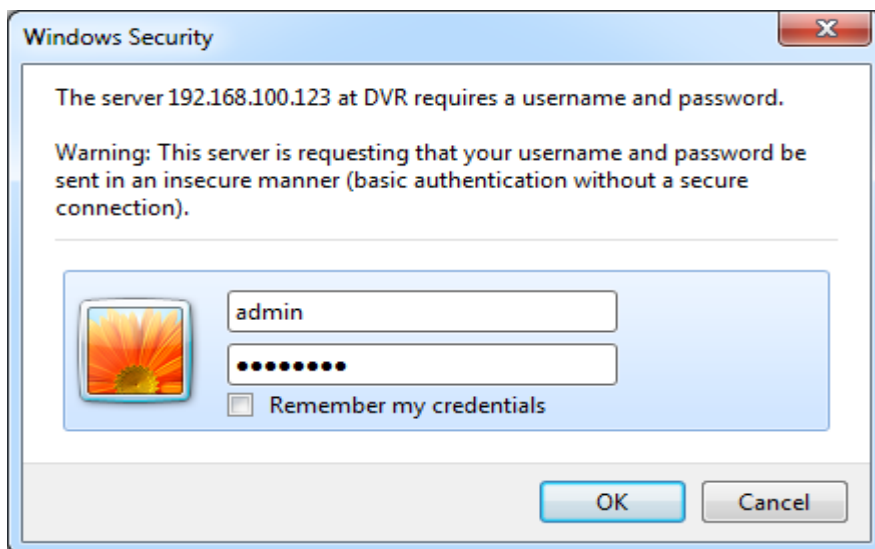


3-9 Internet Explorerに接続する場合

Step 1 : レコーダのIPアドレスを入力します。



Step 2 : 以下の画面が表示されますので、レコーダのユーザ名とパスワードを入力します。初期値はユーザ名が**admin**でパスワードが**123456**です。



Step 3 : iWatchDVR for Internet Explorer 9/11 をクリックします。



Step 4：レコーダの分割画面が表示されます。



Table 3-10.1 システム要件

CPU	Intel Core 2 Due 以上
OS	Microsoft Windows 7, Windows Vista, Windows XP SP2 以上
RAM	4G 以上
VGA Card	DirectX9.0 必要(もしくはそれ以上) Note 1
Anti-virus software (firewall)	80番ポートを使用可能にしてください
その他	DirectX 9.0 above

Note 1:

ビデオカードはDirectX9.0以上が必要です。

NVIDIA: GeForce FXシリーズ, GeForce 6シリーズ, GeForce 7シリーズ, GeForce 8シリーズ, GeForce 9シリーズ, GeForce 200シリーズ, 等.

Or

visit:

http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_Nvidia_graphics_processing_units

ATI: Radeon R300シリーズ, Radeon R400シリーズ, Radeon R500シリーズ, Radeon R600シリーズ, Radeon R700シリーズ, Radeon HD 3xxx IGPシリーズ, Mobility Radeon シリーズ (9500 以上), Mobility Radeon X シリーズ, Mobility Radeon HD シリーズ, or FireGL V シリーズ 等.

Or visit:

http://en.wikipedia.org/wiki/Comparison_of_ATI_graphics_processing_units

SiS: SiS 67Xシリーズ, or SiS 77Xシリーズ 等.

Or visit: http://www.sis.com/support/support_compare.htm

Intel: 91Xシリーズ, 94Xシリーズ, 96Xシリーズ, G3Xシリーズ, or G4Xシリーズ, など.

Or visit: http://en.wikipedia.org/wiki/Intel_GMA

3-10 P2P接続セットアップ (遠隔地からのアクセス)

設定方法

PCからのアクセス

1. システム情報メニューにアクセスします。:
メインメニュー => 設定 => システム情報



2. QRコードの下に記載されている文字を控えます。



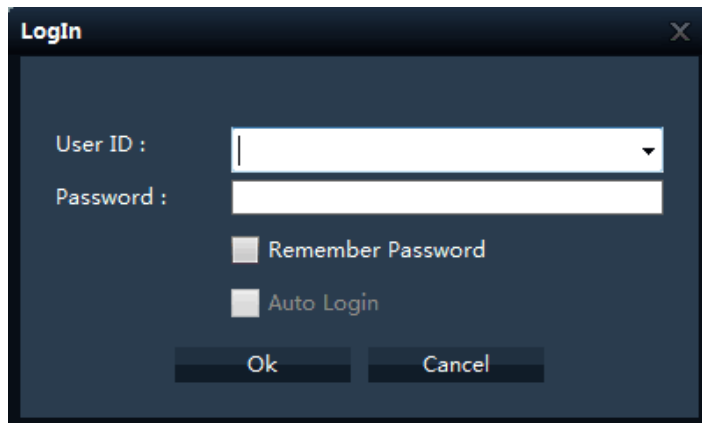
iCMSPro を開きます。

下記アドレスよりダウンロード可能です。

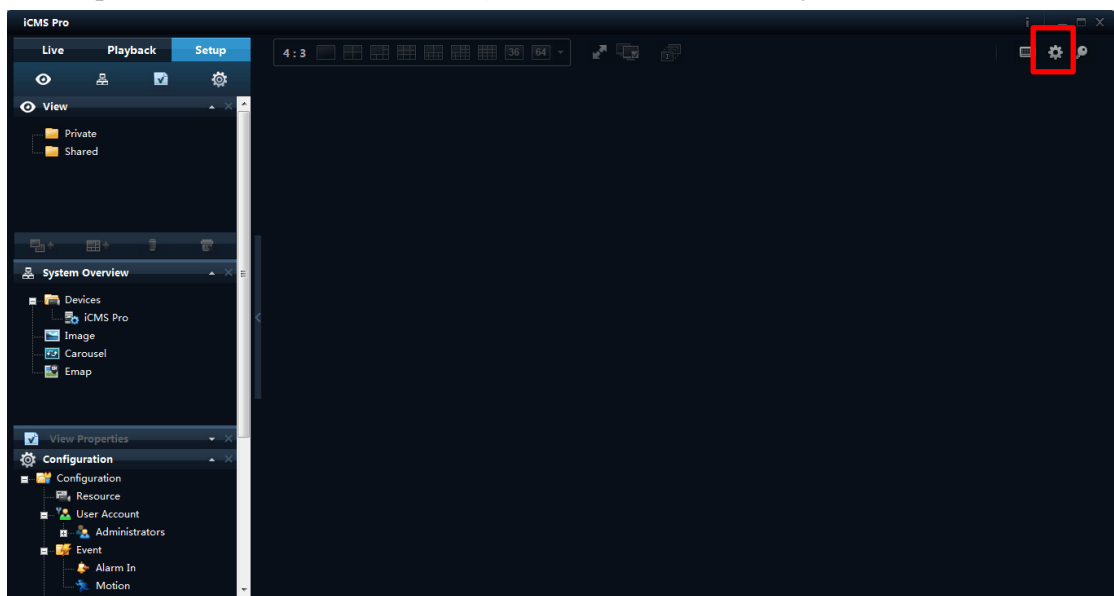
<https://www.altaclass-store.jp/download/iCMSPro.zip>




4. 「User ID」のところにADMINを入力して、「Password」のところに1234を入力します。

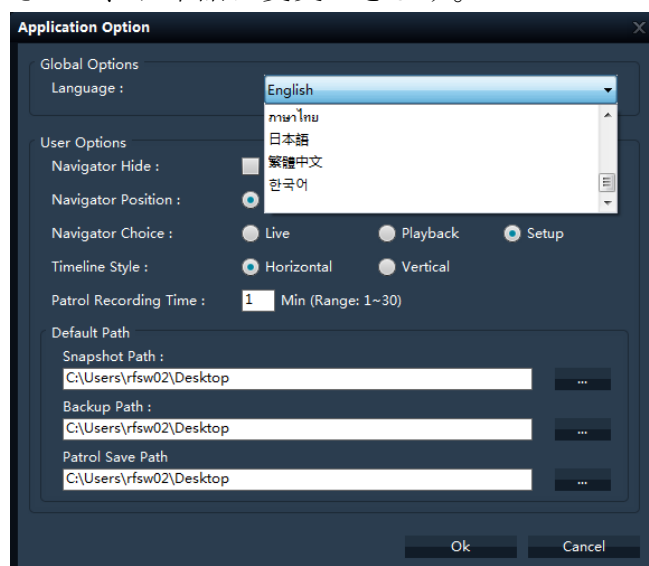


「OK」ボタンをクリックしたら、下記の画面を出ます。

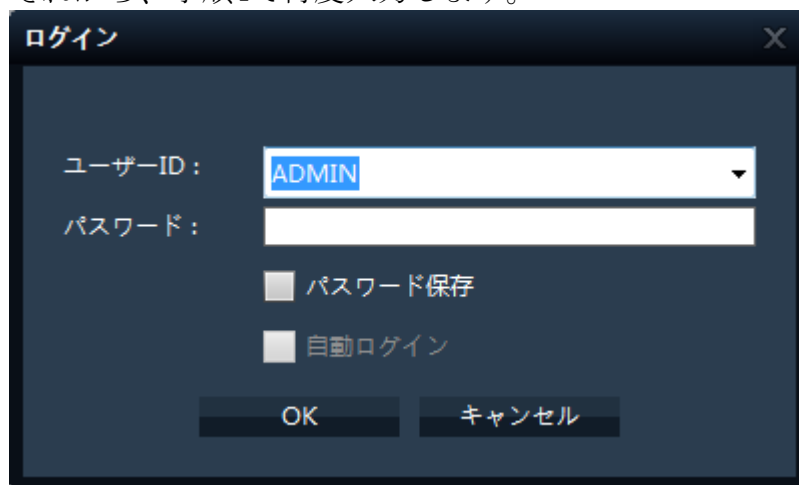


右上の「」をクリックしたら、言語の設定画面を表示されます。

そして、日本語に変更できます。

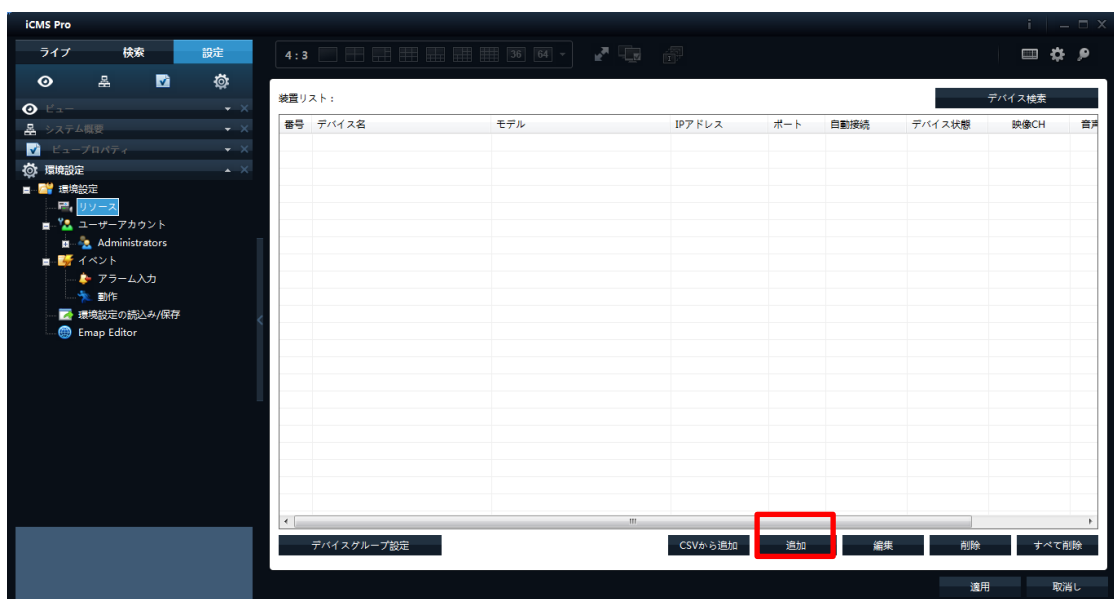


「OK」をクリックしたら、ソフトは再起動します。
それから、手順4で再度入力します。



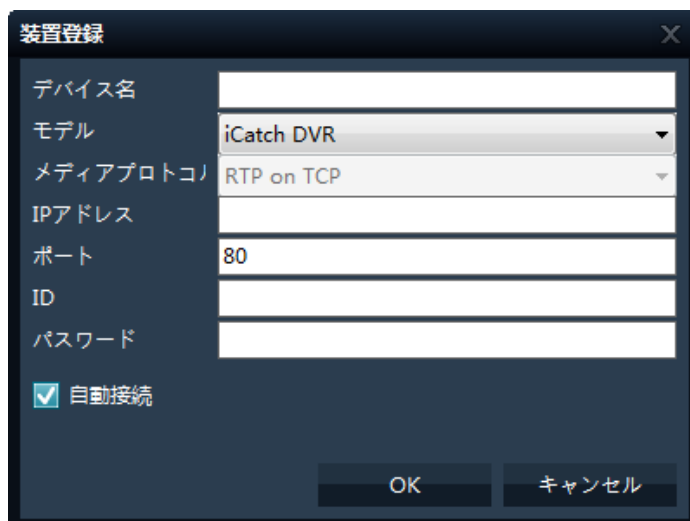
A login dialog box titled "ログイン" (Login). It contains a "ユーザーID:" (User ID) field with a dropdown menu showing "ADMIN", a "パスワード:" (Password) field, and two checkboxes: "パスワード保存" (Save password) and "自動ログイン" (Auto login). At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

5. CMSにてDVRの情報を追加します。
設定画面の環境設定-リソース項目を選択して、下記の画面がでます。



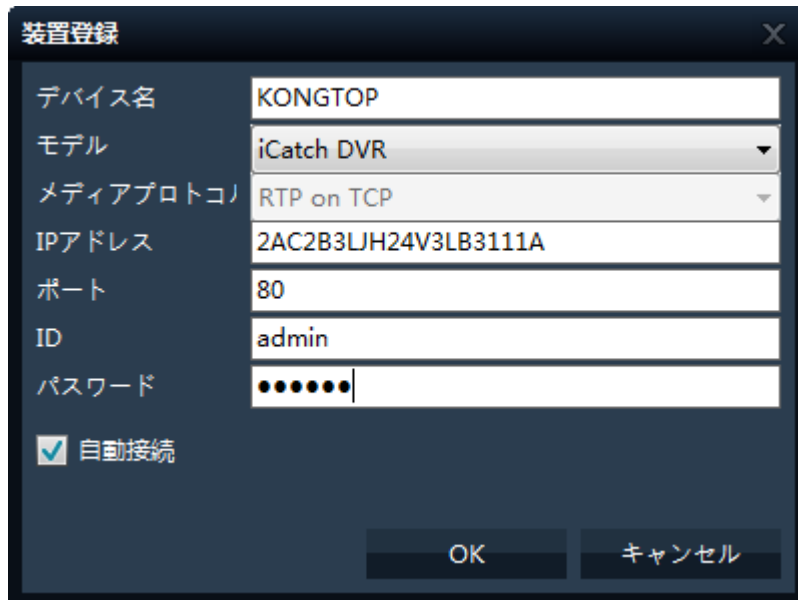
The CMS Pro interface showing the "環境設定" (Environment Settings) - "リソース" (Resources) section. A table titled "装置リスト:" (Device List) is displayed with columns: 番号 (Number), デバイス名 (Device Name), モデル (Model), IPアドレス (IP Address), ポート (Port), 自動接続 (Auto Connect), デバイス状態 (Device Status), 映像CH (Video CH), and 音声 (Audio). The "追加" (Add) button at the bottom is highlighted with a red box.

「追加」をクリックして、下記の画面を表示されます。

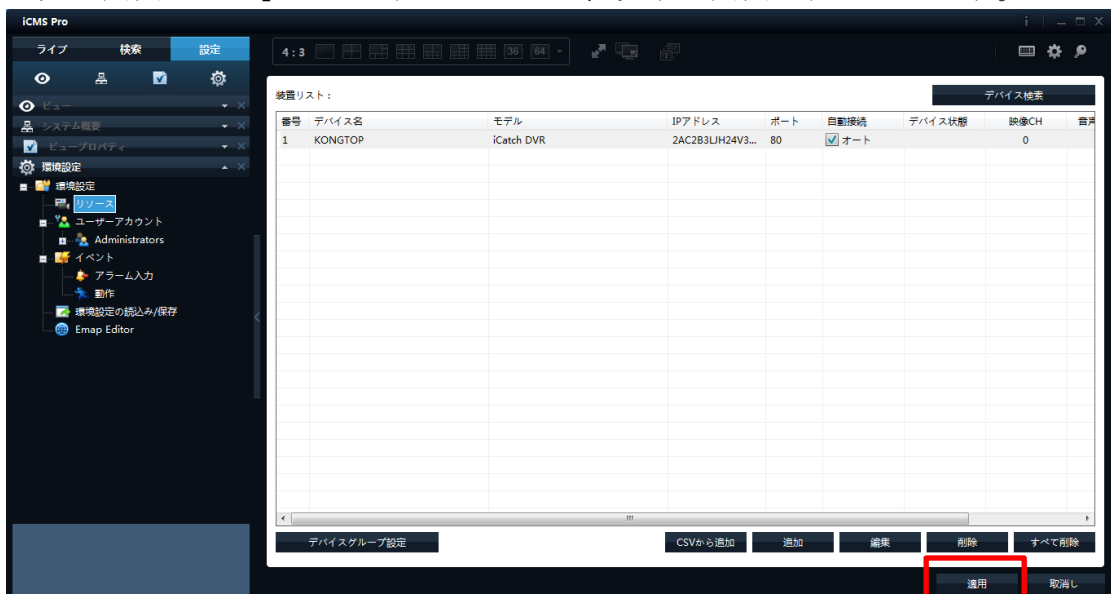


A device registration dialog box titled "装置登録" (Device Registration). It contains fields for: デバイス名 (Device Name), モデル (Model) with a dropdown showing "iCatch DVR", メディアプロトコル (Media Protocol) with a dropdown showing "RTP on TCP", IPアドレス (IP Address), ポート (Port) with the value "80", ID, and パスワード (Password). There is a checked checkbox for "自動接続" (Auto Connect). At the bottom are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

6. 上記の画面でDVRの情報を入力します。
「デバイス名」のところにDVRの名称を設定します。
「IPアドレス」のところにDVRのP2P番号を入力します。
「ID」のところにadminを入力します。
「パスワード」のところに123456を入力します。



7. 上記の画面で「OK」をクリックしてから、以下の画面を表示されます。




「適用」をクリックして、提示画面が出ます。確認してください。



それから、下記の画面に「接続完了」を表示されましたら、DVRの情報を成功して入力します。




8. それから、カメラの情報を追加します。

設定画面のプライベート項目を選択して、「」グループを作成します。

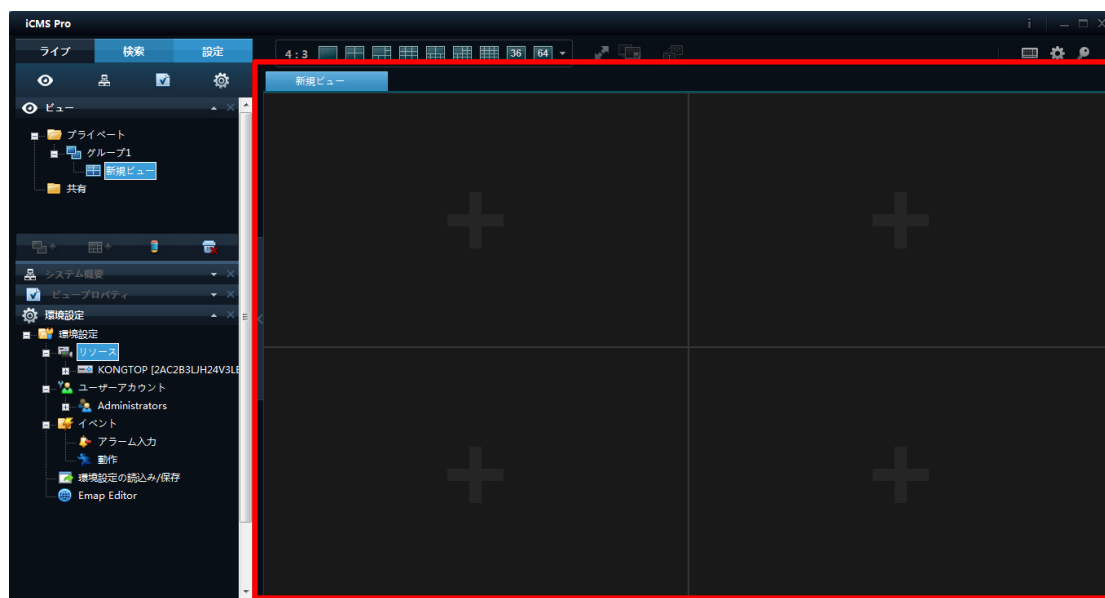


新規グループの名前を設定できます。

「」をクリックして、右の画面が出ます。表示画面を設定できます。



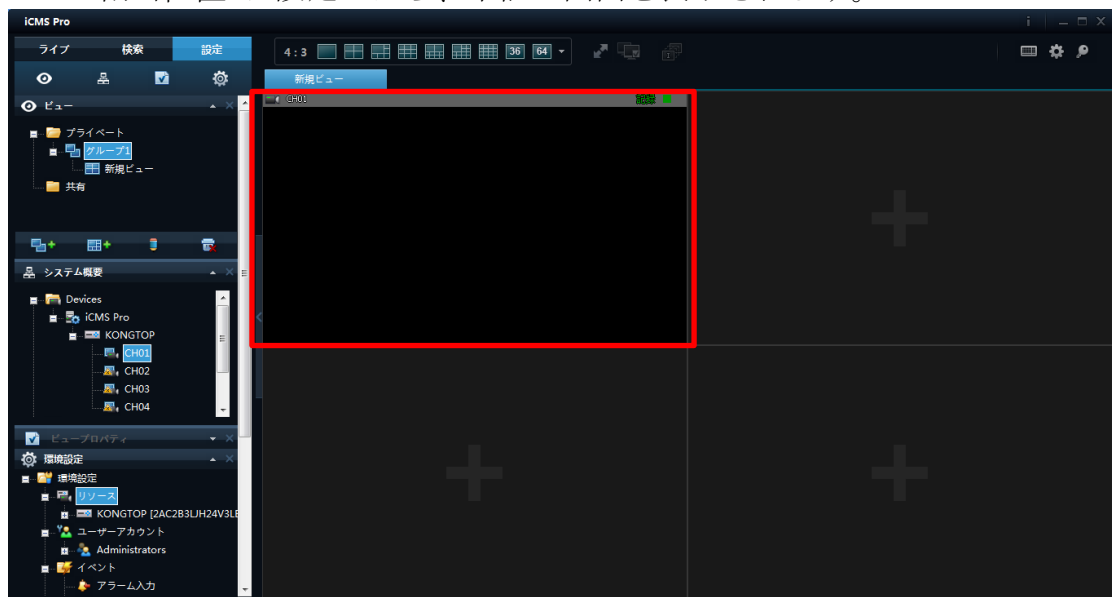
設定したら、下記の画面が表示されます。



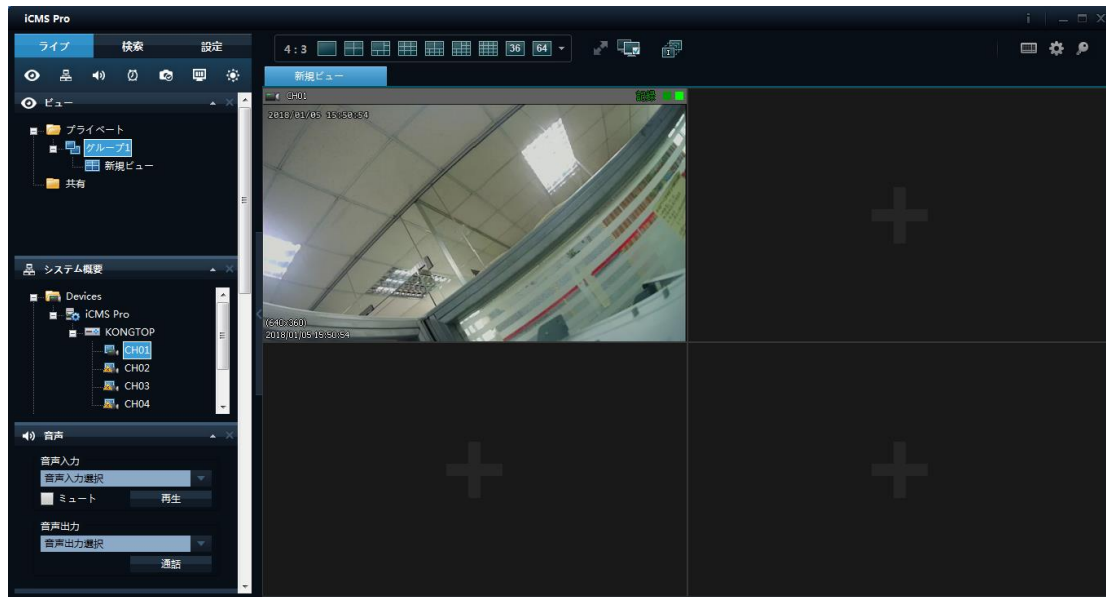
9. 設定画面のシステム概要のiCMSPro項目にてカメラの位置を設定します。
例えば、CH01にて右クリックして下記右の画面が出ます。それから、CH01の位置を設定できます。



ビュー割当位置1に設定したら、下記の画面を表示されます。



10. ライブをクリックしてから、ビュー割当位置1のところにCH01の映像を表示されます。



以上、CMSにてP2Pの情報で設定完了します。

3-11モバイルアプリ

1. Google PlayもしくはApp storeからSoCatchをダウンロードします。



2. 画面右上の” New” もしくは+のアイコンをタップします。

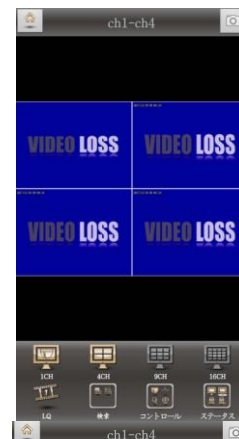


3. HOST名には「IPアドレス」もしくはドメイン名、もしくはQRコードをスキャンしてUIDを入力します。
ポート番号はレコーダのHTTPポートを入力します。
初期値は80番です。UserとPasswordにはレコーダのuser名とパスワードを入力します。
初期値は(admin/123456)です。

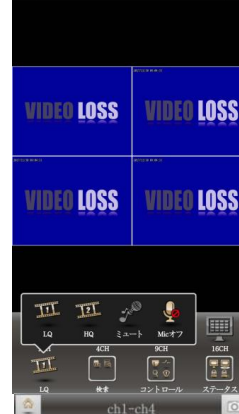
QRコードは前章のPCからのアクセスで表示したQRコードです。



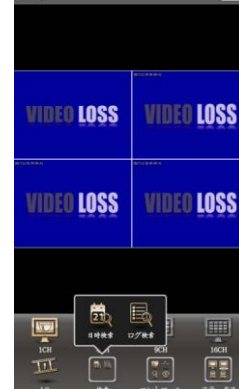
4. 分割画面モードを選択します。



5. 映像の画質と音声出力を制御します。



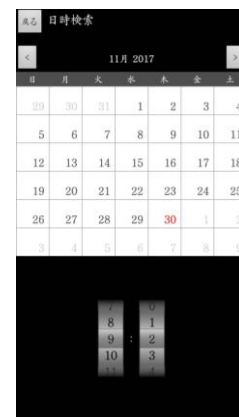
6. 日時検索とログの検索ができます。



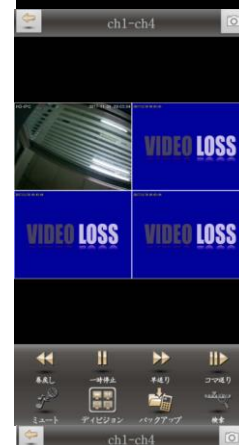
7. ログ検索で時間、イベントによるログ検索ができます。



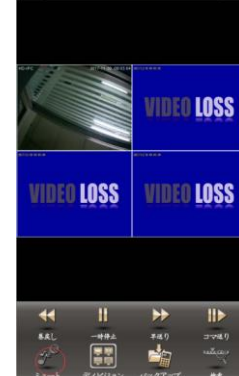
8. カレンダー上で検索する日付を選択して、再生開始する時刻を選択します。



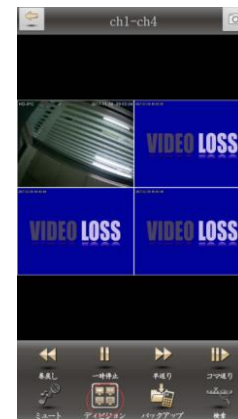
9. 巻き戻し、一時停止、早送り、コマ送り操作ができます。



10. ミュートと音声出力ができます。

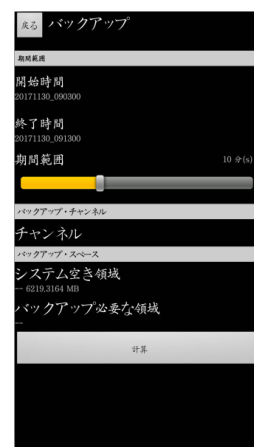
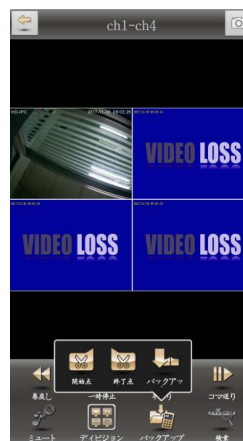


11. 分割画面モードを選択します。

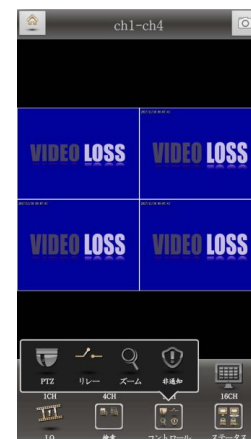


12. 選択した時間帯の映像データをモバイル端末にバックアップします。

- i. 再生映像でバックアップする「開始点」、「終了点」を選択します。
- ii. バックアップを選択しまして、バックアップするチャンネルとバックアップに必要な容量を確認してバックアップを開始します。
※バックアップ中にはほかのプログラムを起動しないでください。



13. PTZ、リレー出力、ズーム、非通知機能の操作ができます。



14. 各チャンネルのステータスを確認します。



15. バックアップデータはリストから確認し、再生することができます。